



地域あいあい 中学生 高校生 編

ほっとミーティング

地域あいあいほっとミーティング(中学生・高校生編)を、8月9日と19日に町役場で開催しました。

この取り組みは、町の次世代を担う中高生が町長との直接対話を通して、現状や課題の共有、意見交換等を行うもので、今後のまちづくり施策に反映することを目的に開催しました。

8月9日に開催した中学生編には、美浜中学校の3年生14名が、19日の高校生編には、二州管内の高校に通う2・3年生11名が出席し、町からは町長や副町長、教育長のほか、各課の職員が出席して中高生との意見交換を行いました。

中学生編の意見交換では、生徒らが小学5・6年時に行った探究活動(美浜の未来新聞の製作等)を掘り下げながら、観光や移住定住振興策、原子力災害時の避難等の議論が深められ、高校生編では、空家活用や里山の保全のほか、ウクライナ支援に関する事等、幅広い議論が行われました。(関連第29頁)



中学生編の意見

- ▶自然を利用したイルミネーションの実施
- ▶水晶浜周辺の開発を
- ▶原発の避難経路を若い世代にもしっかり周知を
- ▶使っていない学校の校舎を活用したホテルの整備
- ▶子どもたちによる砂浜清掃を実施してみても
- ▶海釣りの人たちのために駐車場を増やしてみても
- ▶レインボーラインの山頂に遊び場を作ってみても
- ▶何が釣れるかを記した釣りマップを作成してみても
- ▶美浜1日旅行プランを作成してみても
- ▶山を利用したアスレチックを作ってみても
- ▶海や湖を利用したウォーターパークを作ってみても
- ▶空家を利用したシェアハウスの整備
- ▶地元の食材を活用したレストラン・カフェの整備
- ▶パラグライダー等で美浜を満喫できる場所を

高校生編の意見

- ▶ドッグランの整備
- ▶インスタ映えするスイーツや料理を提供する飲食店を
- ▶男女の出会いの場を提供し、地域の活性化を
- ▶ウクライナへの支援について
- ▶空家カフェの実現に向けて
- ▶キャンプ場等を整備し、里山の保全と活用を
- ▶田んぼアートを活用した観光の強化
- ▶18歳以下の子どもがいる家庭にとって魅力的なまちづくりを
- ▶観光客増加に向けたまちづくりを



持ち歩いても大丈夫!!

マイナンバーカード

9月1日付けで、町住民環境課内にマイナンバーカード普及推進室が設置されました!!

マイナポイント第2弾も9月末で終了となり、取得する人が増えているマイナンバーカード。皆さんは、もう取得されましたか。便利になると同時に心配なのが安全性。個人情報が入ったカードを持ち歩くのは、とても不安です。

しかし、マイナンバーカードには、さまざまな安全対策が施されており個人情報が漏洩しないように作られています。



教えて! マイナンバーばあちゃん わしが答えるのじゃ!

よくある疑問

持ち歩き方

普通に持ち歩いていいの?

ええんじゃよ。キャッシュカードの感覚に近いかの。失くさないようにするのじゃよ!

提示方法

銀行や勤務先等でマイナンバーの提示を求められたら、どうすればいいの?

おもて・うら両面を見せるのじゃ。

じゃあ、レンタルショップ等で本人確認書類として使うときは?

おもて面を見せるのじゃ。その際、うら面のマイナンバーは見られても大丈夫じゃが、マイナンバーを書き留めたり、コピーをとることはダメなのじゃ。

暗証番号

暗証番号を友達に教えても大丈夫?

キャッシュカードと同様、他人に教えるはいけないのじゃ。暗証番号は、マイナンバーカードを利用するために必要で大事なものじゃよ。

SNSへカードの画像を投稿

こんなに安全なら、カードを自慢しても大丈夫?

マイナンバーを誰かに知られても大丈夫なように安全対策は施されているが、不特定多数の目に入る場所への投稿は禁止されているのじゃ!

マイナンバーカードの安全性



なりすましはできません。顔写真入りのため、対面での悪用は困難です。

マイナンバーを見られても悪用は困難です。

マイナンバーを利用するには、顔写真付き身分証明書等の本人確認が必要となるため、悪用は困難です。

電子証明書を使用するため、オンラインの利用にはマイナンバーは使用されません。

プライバシー性の高い個人情報が入っていません。ICチップ部分には、税や年金等の個人情報は記録されません。



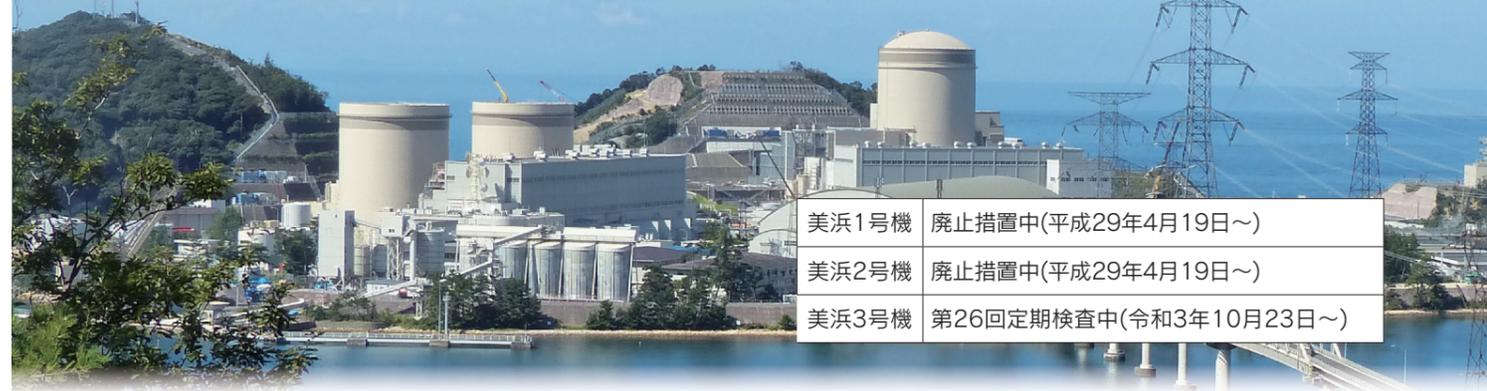
プライバシー性の高い対策

- 紛失・盗難の場合は、24時間365日体制で一時利用停止可能
- アプリ毎に暗証番号を設定し、一定回数間違えると機能ロック
- 不正に情報を読みだそうとすると、ICチップが壊れる仕組み

お問い合わせ先 町まちづくり推進課 (担当・浅妻) ☎32-6701

お問い合わせ先 町住民環境課マイナンバーカード普及推進室 (担当・田辺憲虎) ☎32-6703

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	第26回定期検査中(令和3年10月23日～)

① A封水注入フィルタ蓋フランジ部からの水漏れ

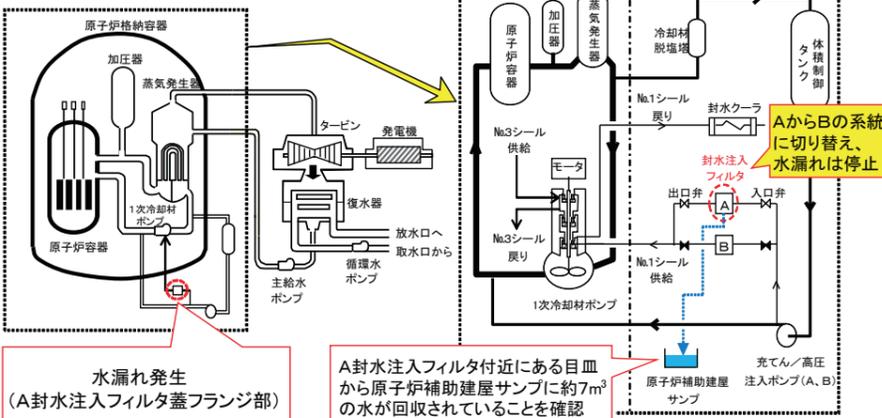
1次冷却材系統の漏えい確認のため、同系統を昇温・昇圧していたところ、原子炉補助建屋内のA封水注入フィルタ蓋フランジ部から約7m³の水の漏えい(放射能量:約220万Bq(※))が確認されましたが、本事象による環境への影響はありませんでした。

調査の結果、前回定期検査での当該フィルタ取替工事中において、フランジ部のボルトを締め付けるトルク値(締め付け)の誤った数値が作業要領書に記載されており、本来よりも低い値でボルトが締め付けられていたことにより、フランジ部漏れ止め用のOリングから水漏れが生じたと推定されました。

対策として、すべての工事発注において作業要領書を工事実施前に確認する運用とするとともに、美浜3号機のプラントの状態に応じた現場点検等が追加で実施され、異常がないことが確認されました。

※保安規定で定める年間放出目標値の1万分の1以下

<系統概略図>



水漏れ発生(A封水注入フィルタ蓋フランジ部)

A封水注入フィルタ付近にある目皿から原子炉補助建屋サンプに約7m³の水が回収されていることを確認

<現場点検における確認項目>

○漏えい防止

- ・可搬型赤外線サーモグラフィを用いた微小な漏えいに着目した点検
- ・フランジ部、接合部等のシール部分に対し、ふき取り布を用いた微小な漏えい確認も含めた点検

○機器の動作不良防止

- ・弁の動作を制御する電磁弁について、電流値を測定して異常がないことを確認



↑発電所幹部による点検前の意識付け



↑赤外線サーモグラフィやふき取り布を用いた現場点検の様子



② Aアキュムレータ圧力の低下

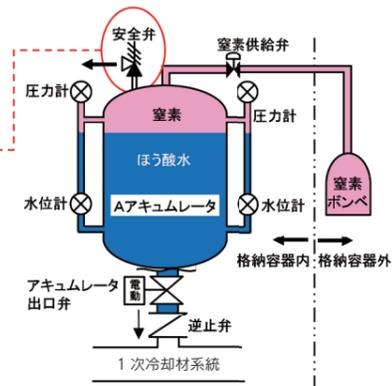
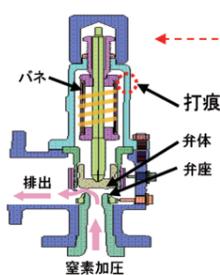
1次冷却材系統の昇温・昇圧を実施していたところ、中央制御室において「Aアキュムレータ圧力低」警報が発信し、保安規定で定める基準(4.04MPa以上)を一時的に下回っていること(※)が確認されました。

現地を確認した結果、安全弁に打痕が確認され、当該弁近傍で足場設置等の作業が行われていたことから、資機材が接触したことによるものと推定されました。

対策として、当該弁の手入れや漏えい検査等を行い、健全性を確認したうえで復旧するとともに、安全弁への接触に関する注意事項を工事仕様書に反映しました。

※同日中に保安規定を満足する状態に復帰

<安全弁拡大図>



<アキュムレータの機能概要>

原子炉冷却材喪失事故等の発生

1次冷却材の圧力<アキュムレータの圧力

ほう酸水を1次冷却材へ注入

関西電力(株)美浜発電所

3号機が起動しました

昨年10月から第26回定期検査を実施している美浜3号機では、7月に「特定重大事故等対処施設」が完成し、運用を開始しています。8月30日には、原子炉を起動し、9月1日から定期検査の最終段階である調整運転が行われています。

今後、9月26日に総合負荷性能検査を実施後、本格運転を開始する予定です。

今月号では、定期検査の主要な作業工程や発生したトラブル事象等についてお知らせします。

【主要な工事・検査】

- ・原子炉照射試験片取出工事
- ・原子炉格納容器供用期間中検査
- ・電気配線貫通部改良工事
- ・格納容器サンプ水位計取替工事
- ・A所内変圧器取替工事

【発生したトラブル事象】

① A封水注入フィルタ蓋フランジ部からの水漏れ(※)

② Aアキュムレータ圧力の低下

※対策として、漏えい防止及び機器の動作不良防止の観点から、起動試験時の現場点検を強化。下記工程のとおり、美浜3号機のプラントの状態(系統の温度・圧力)に応じて、追加で3回点検を実施。

【定期検査作業工程】

実績: □ 予定: ■

	令和3年			令和4年		
	10月	11月	12月~6月	7月	8月	9月
原子炉容器開放・組立	開放			組立		
燃料取出・装荷		取出		装荷		
1次系ポンプ・弁点検						9/1 発電開始
起動試験他						9/26 本格運転開始予定
調整運転					8/1 A封水注入フィルタ蓋からの水漏れ	8/19 現場点検1回目/原子炉起動前昇温・昇圧中/実施範囲・原子炉格納容器・海水ポンプエリア等
A所内変圧器取替工事					8/21 Aアキュムレータ圧力の低下	8/27 現場点検2回目/原子炉起動前昇温・昇圧後/実施範囲・原子炉格納容器・原子炉補助建屋
原子炉照射試験片取出工事 原子炉容器供用期間中検査 高エネルギーアーク損傷対策工事 格納容器サンプ水位計取替工事						9/5 現場点検3回目/定格熱出力一定運転到達後/実施範囲・タービン建屋等
特定重大事故等対処施設設置工事						

第二次美浜町環境基本計画 重点施策2
みはま 美しい浜・海・湖の
クリーンプロジェクト

海洋プラスチックごみによる環境汚染は地球規模で広がり、世界的な課題となっています。本町にも、毎年大量のプラスチックごみが漂着し、処理に苦慮しています。この課題を解決するため、町の環境基本計画では「みはま 美しい浜・海・湖のクリーンプロジェクト」を重点施策の1つに掲げ、町民やみはま応援クルーとともに取り組む「美しい浜プロジェクト」を実施しています。さらに、陸上から排出されるプラスチックごみの削減に向けた取り組みとして、ごみスマートチャレンジ事業を実施します。

ごみスマートチャレンジ事業 ~プラごみ削減に向けて~
プラスチックごみの削減に向け、町ではマイボトルやマイバック等の利用を呼び掛け、使い捨てプラスチックの使用抑制を図っていますが、更なる対策として、新たにプラスチック代替製品購入に係る経費の一部を補助する制度を創設しました。

補助事業名
美浜町プラスチック代替製品利用促進事業補助金

補助事業の概要
町内飲食店等を対象に「使い捨てプラスチック容器等」から「環境に配慮した素材の容器等」に切り替える取り組みを支援します。この補助制度を活用して、プラスチックごみの削減にご協力をお願いします。

対象者
町内で飲食物の宅配またはテイクアウト等を行う飲食店等を営む者

対象事業
テイクアウト等に使用する使い捨てプラスチック製容器や包装、ストロー、マドラー、スプーン、フォーク及びテーブルナイフをプラスチック以外の素材（木や紙等）やバイオマスプラスチック等環境に配慮した素材でできた製品に切り替えた場合の代替品購入費の一部を補助します。

町民の皆さんには、プラスチックごみを削減するため、このような地球にやさしい取り組みを行う飲食店等を積極的に利用する等の応援をお願いします。また、マイバックやマイボトルを持参する等、プラスチックの使用を減らす取り組みにもご協力いただきますようお願いいたします。一人ひとりの心がけが最も重要です。私たちにできることから始めていきましょう。

お問い合わせ先 町住民環境課 (担当・志賀) ☎32-6703



美浜の環境 シリーズ152 environment



補助金の額
対象経費の 1/2 以内 (100 円未満切り捨て)
上限：1 店舗につき 10 万円
3 店舗以上お持ちの事業者は 30 万円

対象期間
令和 4 年 10 月 1 日～
令和 5 年 3 月 31 日まで
※令和 4 年 9 月 30 日以前に購入したものは対象外

その他
補助金の交付を受けた事業者は、本事業の趣旨に賛同いただき、協力店ステッカーを店頭に掲示していただけます。

申請前に必ず町ホームページ等で本補助金の交付要綱を確認してください。
ご不明な点等は、町住民環境課にお問い合わせください。



↑関西電力㈱から説明を受ける委員

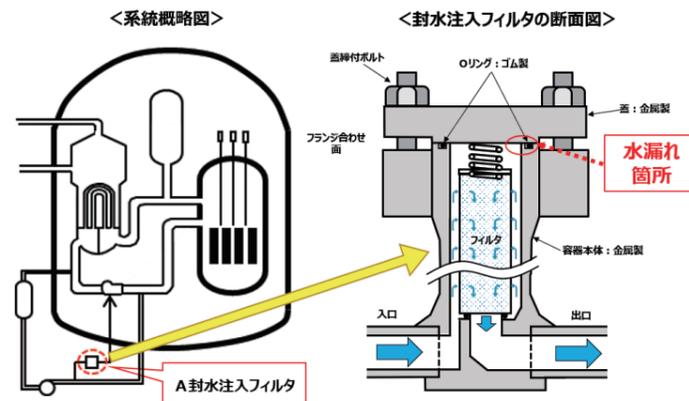
8月22日に、第213回美浜町原子力環境安全監視委員会を、関西電力(株)美浜原子力P/Rセンターで開催しました。今回の委員会では、事務局から発電所の周辺環境への影響等に関する福井県原子力環境安全管理協議会の報告内容について説明しました。その後、関西電力(株)から美浜1・2号機の廃止措置状況や美浜3号機の定期検査において行った主要な工事、封水注入フィルタからの水漏れ等について説明を受けた後、発電所構内へ移動し、安全性向上対策工事の概要や廃止措置工事の進捗状況等を確認しました。委員会での主な質疑は、次のとおりです。

封水注入フィルタからの水漏れについて (関西電力(株))

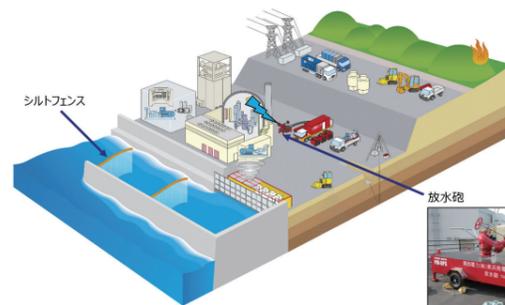


↑美浜1・2号機のタービン建屋を確認する委員

問1 協力会社で作成した要領書の締付トルク値に誤りがあり、フランジ部からの水漏れが生じた。対策として、工事実施前の要領書確認を徹底するということが、こういった事象が再発することを防ぐため、確認作業が形骸化することがないよう、徹底していただきたい。
答1 当社と協力会社が行うさまざまな活動の中で、特にトルク値等の規定値については、都度、この数値で良いかという問い掛けを継続していく。



問2 一次冷却材から、放射能を含む約7mの水が漏れ出した。なぜ、これだけの量が漏れ出したのか。漏水箇所の警報監視を見直す必要があるのではないかと。
答2 漏れは直ちに検出できており、警報発信後、現場への移動や予備のフィルタへの切り替え操作等で時間がかかるため、結果として約7mの水が漏れ出したが、建屋内で回収できており、警報監視には問題ないと考えている。



問1 重大事故が発生し、格納容器が破損した場合、放水砲により破損箇所へ直接放水することで大気中への放射性物質拡散が抑制できると思うが、放水した水は海へ漏れ出るのではないかと。
答1 放水砲からの水は、排水溝を通じて海に流れる。排水溝には、放射性物質の吸着剤であるゼオライトを大量に配備し、放射性物質の海への漏れを抑制する。ゼオライトを通り抜けた放射性物質も想定し、シフトフェンスを配備することで外海までの放出を抑制できると考えている。

放水砲による放射性物質の拡散抑制について (関西電力(株))